

令和7年度(2025年度)認定校優秀学生賞 受賞者の声



寺田 優花 さん

北九州市立大学
地域創生学群 地域創生学類

● 思い出に残る活動

2024年に佐賀県で開催されたパラ国体です。視覚・聴覚・知的障がいのある選手の特性を理解し、言葉だけでなく、身振りや実演を取り入れるなど、伝え方を工夫しました。試行錯誤を重ねる中で信頼関係を築くことができ、選手が目標に向かって挑戦する姿から、支える立場としての責任とやりがいを感じました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は優秀学生賞をいただき、大変嬉しく思っております。陸上競技のボランティア活動だけでなく、ゼミ活動では車椅子ソフトボールにも取り組み、障がいのある様々な方と関わってきました。その中で、障がいの有無に関わらず、スポーツを楽しみ、目標に向かって努力する気持ちは誰しも同じであることを強く実感しました。今後はこの経験を大切にしながら、より多くの方にパラスポーツの魅力を伝えていきたいです。



本田 雅也 さん

北海道医療大学
看護福祉学部 福祉マネジメント学科

● 思い出に残る活動

札幌市内で行われたすずらんピックに初めてボランティアとして参加したとき、実際に選手として活躍されている方との交流をきっかけにパラスポーツの活動に関心を持つことが出来ました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は優秀学生賞を受賞し、大変嬉しく思っています。学生生活では、多くのパラスポーツに関するボランティアを経験することができ、パラスポーツの活動を通じて多くの当事者の方々とつながりを深めることができました。今後も、指導員として様々な活動に貢献していけるよう、努力してまいります。



岩瀬 鈴加 さん

日本福祉大学
スポーツ科学部スポーツ科学科

● 思い出に残る活動

名古屋市の障がい者福祉施設6か所を訪問し、ポッチャ等のルールを工夫しながら誰もが楽しめるスポーツ活動を支援しました。回を重ねるごとに反応が変化し、障がい者スポーツの重要性和継続の大切さを実感しました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は優秀学生賞という光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。大学では多様なボランティア活動に参加し、多くを学ぶとともに、パラスポーツの重要性や魅力を伝える貴重な経験を重ねることができました。今後も誰もがスポーツに親しめる環境づくりに貢献できるように、活動を継続していきたいと思っております。



加藤 希歩 さん

学校法人岩崎学園横浜リハビリテーション専門学校
理学療法学科

● 思い出に残る活動

全国障害者スポーツ大会に陸上チームのサポートスタッフとして帯同し、ウォーミングアップの補助や競技前後、滞在中の生活面のサポートを行ったことです。選手と関わりながら活動できた経験が特に印象に残っています。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

今回このような賞をいただき、大変光栄に思います。全国障害者スポーツ大会への帯同では、競技に向き合う選手の姿や支えるスタッフの方々から多くの学びを得ることができました。学生としてできることの少なさも感じましたが、理学療法士として成長し、将来またこの分野に挑戦したいと考えています。



柴田 凌佳 さん

九州栄養福祉大学
リハビリテーション学部理学療法学科

● 思い出に残る活動

パラスポーツのボランティア活動として参加した電動車椅子サッカー(Power chair football)大会では、試合運営の補助だけでなく、実際にフットガードをついた電動車椅子を操作してボールを蹴るという大変貴重な経験をさせていただきました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

ボランティア活動を通して、競技の迫力や奥深さ、障がいの有無に関わらず一人ひとりが持つ可能性の大きさなど、パラスポーツの魅力や素晴らしさを実感しました。今後は理学療法士として、パラスポーツの理念や考え方を大切にし、幅広い視点を持って患者様の社会復帰やQOL向上に向けた支援を行うとともに、パラスポーツの魅力を伝えていきたいと考えています。



高須 ひな さん

つくば国際大学
医療保健学部理学療法学科

● 思い出に残る活動

大学でのサークル活動です。シッティングバレーでは先輩後輩や障がいの有無を問わず共にプレーし、かけがえない思い出となりました。また、パラカヌー選手の練習サポートや障がい者スポーツイベントのスタッフを経験し、貴重な学びを得ました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

優秀学生賞を頂き、大変嬉しく思います。大学の先生方やパラスポーツ選手との出会いを通して多くの経験を積むことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。この活動を通じて障がい者スポーツの魅力を実感し、より多くの人を知ってほしいと思うようになりました。今後も関わり続け、その魅力を発信していきたいです。



和泉 竹 さん

四條畷学園大学
リハビリテーション学部

● 思い出に残る活動

2023年と2024年の国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会に、海外チーム帯同スタッフとして参加したことです。言語の壁を感じながらも、意思疎通ができ、日本での大会を楽しく過ごしていただくことができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は、賞をいただきありがとうございます。パラスポーツが浸透していない地域での体験会の開催や理学療法士として働く上での会話材料に活かしていきます。



及川 晃照 さん

学校法人都築教育学園札幌医療リハビリ専門学校
理学療法学科

● 思い出に残る活動

1年生の時に参加した「車椅子テニス」のボランティア活動

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は、パラスポーツ指導員資格取得認定校「優秀学生賞」をいただき、大変光栄に思います。これまで支えてくださった、先生方や同級生、家族に感謝しています。活動を通して、挑戦する大切さや支え合うことの大切さを学びました。今後も競技力の向上とパラスポーツの魅力発信に努めていきたいと思います。



森山 孝行 さん

駿河台大学
スポーツ科学部スポーツ科学科

● 思い出に残る活動

私の特に思い出に残る活動は、第36回日本パラ陸上選手権大会です。この大会はガイドランナーとして初めて決勝に進み、優勝に導いた試合でした。心がつくなる感覚の中、選手も自己ベストで優勝し、最高の忘れられない一日となりました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

正直、受賞はおろか選ばれるとも思っていなかったため、大変驚いています。このような賞をいただいたことに感謝し、今後もパラスポーツ、パラ陸上への情熱を忘れず、選手にとってより良い支えとなれるよう努めていきます。ガイドランナーとして経験を重ね、将来はアジアパラ、世界パラ、さらにはパラリンピックの舞台に立てたら嬉しいです。



菊地 彩里 さん

順天堂大学
スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

● 思い出に残る活動

4年間、障がい者スポーツ同好会に所属し、学内では多くのパラスポーツを通して仲間と交流を深めました。さらに、ボランティア活動の参加やゴールボール日本選手権大会予選への出場など学内外で幅広く活動することができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

このような賞をいただけたこと、とても嬉しく思います。パラスポーツを通して多くの方々と交流する中で、自分の「見方・考え方」が広がったと実感しています。今まで支えてくださった先生方、先輩方、後輩のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。これからもパラスポーツに親しみ、ゴールボールの大会に出場したり、ポッチャなどの授業を展開したりしながら、多くの人が興味や関心を持つきっかけをつくってまいります。



國谷 和飛 さん

大阪国際大学
人間科学部スポーツ行動学科

● 思い出に残る活動

特に思い出に残っているのは、サウンドテーブルテニス(STT)を、体験させて頂いたことです。目が見えない事を理解していても、実際にアイマスクをし、静けさの中に音だけを頼りに卓球をすることの難しさを痛感いたしました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

優秀学生として表彰して頂いたこと、恐縮と同時に大変光栄に思います。大学の先生、一緒に学んだゼミの仲間、パラスポーツセンターの皆さん、たくさんの方々に感謝いたします。これからは学生ではなく社会人として、資格保持者として、パラスポーツ発展の為に精進して参りたいと考えています。まずは、私のモットーである『相手の立場に立って考え行動が出来る』を常に忘れず、利用者の皆さんに愛される指導員を目指したいです。



倉持 一生 さん

鳥取市医療看護専門学校
作業療法士学科

● 思い出に残る活動

地域マラソン大会の運営ボランティアとして、給水のサポートを担当しました。車いす利用者と健常者が共にゴールを目指す中、各ランナーの心身状況や希望に応じたサポートを心掛け、完走への願いを共有できた貴重な経験でした。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は栄誉ある賞をありがとうございます。走る楽しさを知るファンランナーの一人として、困難を乗り越え挑戦するパラアスリートの姿に深く敬意を抱いてきました。今後はリハビリテーションの専門知識を活かし、障がいを持ちながらも、充実した機会をスポーツなど通じ得られるよう、微力ながら後押し出来たらと思います。



何原 湛九郎 さん

飯田短期大学
生活科学学科介護福祉専攻

● 思い出に残る活動

市内の車いすツインバスケットボールのチームの活動に参加させてもらい、基本的な動作を習って試合に参加しました。初回はプレイがごちなく馴染みませんでしたが、その時間は試合に熱中でき、パラスポーツは誰もが楽しむことのできるものなのだとわかりました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

介護分野を学ぶ前は、自分の知っているパラスポーツは数えるほどしかありませんでした。しかし、学びを通して多くのスポーツを知り、興味を持つとともに、実際にいくつが体験することができました。さらに、障害のある方にとってパラスポーツがどのような意味を持つのかについても理解を深めることができました。この学びを大いにし、今後関わる人々や自分自身の成長に役立てていきたいと考えています。



大泉 泰生 さん

杏林大学
保健学部理学療法学科

● 思い出に残る活動

国内最高峰のボッチャインクルーシブ大会である、BOCCIA TOKYO CUP 2023(現 BOCCA JAPAN CUP)にて優勝し、日本一になりました。選手としての経験を活かし、幅広い年齢層を対象とした講習会や大会の主催、運営に携わることで競技の普及促進と地域の健康増進に貢献しました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

優秀学生賞をいただき、大変嬉しく思っております。大学一年生の初めに授業でパラスポーツを学んだ時には想像できないほどの素晴らしい景色を沢山見せていただきました。医療従事者として、パラスポーツを通じた様々な活動を繰り広げることで、これからも地域の健康増進とパラスポーツの普及に尽力していきたいと思っています。



矢ヶ部 将史 さん

平成医療短期大学
リハビリテーション学科理学療法専攻



金丸 光里 さん

大阪体育大学
体育学部健康・スポーツマネジメント学科

● 思い出に残る活動

「日本車いすツインバスケットボール選手権大会」のボランティアです。本格的な試合を初めて見ることができ、パラスポーツの魅力を改めて実感することができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

パラスポーツについて講義や卒業研究で学んできましたが、実際の活動にはあまり関わることが出来ませんでした。卒業後は実際の活動に帯同し選手達とコミュニケーションを取ったり、パラスポーツについてより深く学ぶことで、新たにパラスポーツを始める方々のサポートをしていきたいです。

● 思い出に残る活動

アダプテッド・スポーツ部の活動や、わくわくアダプテッド・スポーツクラブの活動が思い出に残っています。大学に入学するまで、障がいのある方との関わりは殆ど無かったのですが、これらの活動を通して他ではできない貴重な経験を積むことができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

今回は優秀学生賞をいただき誠にありがとうございます。大学で様々なパラスポーツと出会い、活動に参加する中で多くの方々との関わる機会を得ることができました。同時に多様な知識や考え方を身に付けることもできました。卒業後もこの経験を活かし、自分自身が楽しみながら、パラスポーツの魅力を伝え、社会貢献にも繋げていきたいと考えています。



猪熊 愛 さん

帝京平成大学
健康メディカル学部理学療法学科



寺田 和樹 さん

聖隷クリストファー大学
社会福祉学部社会福祉学科

● 思い出に残る活動

視覚障がいの選手と公共交通を用いて帰宅した経験から、段差や周囲の人の動きなど、日常の不便や課題を実感しました。その経験から積極的に声かけや誘導を行うようになり、誰もが安心して生活・活動できる社会の実現を目指したいと考えています。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は、優秀学生賞という素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。パラスポーツを通して多くの学びや出会いを得ることができました。支えてくださった方々への感謝を忘れず、今後も競技力の向上と魅力の発信に努めていきたいです。社会に出てからも医療従事者として学び続け、成長していきたいです。

● 思い出に残る活動

大学一年の時、SVF(シッティングバレーボールフェスティバル)に参加し、大学外のアスリートと関わりを持ちました。外部の上手な方々の多さに圧倒され、大きな刺激を受けた経験が印象に残っています。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

4年間、競技人口の拡大に少しでもつながればと思い活動してきました。その取り組みをこのような形で評価していただき大変嬉しく思います。卒業後はシッティングバレーに関わる機会は減りますが、学んだ経験を生かし、普及と理解促進に貢献していきたいです。



吉村 幸実 さん

関西大学
人間健康学部人間健康学科

● 思い出に残る活動

小学生を対象に3日間のユニバーサルスポーツの体験会や全5回の教室を開催しました。教室では、モルック・キンボール・ボッチャ・ドッチビーの4種目を実施し、小規模ながらも最後には大会を行いました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

優秀学生賞を受賞できたこと、大変光栄に思います。幼少期からスポーツが好きだったため、多くのスポーツを経験してきました。その経験と大学での学びから、年齢・性別・国籍・障がいの有無などに関係なく、誰もが参加でき、楽しめるスポーツ活動の推進を行いたいという思いがあります。この思いを実現できるように、今後はさまざまな形でスポーツに携わりたいです。



林 遼哉 さん

国立大学法人筑波技術大学
産業技術学部産業情報学科

● 思い出に残る活動

様々な障害種別のスポーツ活動を体験し、学びを深めた上で、自分の持つ「聴覚障害」、「デフスポーツ」について、一般大学の学生に対して出前授業を行なったことが思い出に残っています。私が発信したことに、一般学生が真剣に耳を傾けてくれ、楽しそうに手話を学んでくれたこと、とても良い経験ができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は優秀学生賞という素晴らしい賞を頂き、光栄に思っております。昨年「東京2025デフリンピック」にデフハンドボール日本代表選手として出場することができました。卒業後も、選手としての経験を積み、最終的には、その経験を生かして、パラスポーツ指導者として活動できたらいいなと考えています。



長井 美成 さん

愛知医療学院短期大学
リハビリテーション学科理学療法学専攻



竹内 琉羽 さん

河原医療中学校
理学療法学科

● 思い出に残る活動

初めて出場した西日本選手権大会が印象に残っています。他校のボッチャの技術はとても凄くコントロールが正確で感銘を受けました。私ももっとボッチャの技術を高め、他のパラスポーツにも挑戦し、指導者として挑戦しながらパラスポーツについて学んでいきたいと思いました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

今回このような素晴らしい賞をいただき大変嬉しく思います。ボッチャを中心に、この3年間パラスポーツに関わってきて、沢山のボランティア活動を頑張ってきて良かったなと思います。活動を通して失敗した経験やスポーツの楽しさを実感することができました。卒後も積極的に参加していき、自分が楽しむだけでなく、指導者としてパラスポーツの魅力を伝えられるように頑張ります。

● 思い出に残る活動

フライングディスク競技のボランティアとして、視覚や聴覚に障がいのある選手のサポートや得点記録を担当しました。選手1人ひとりに寄り添いながら関わる中で、パラスポーツの魅力と支えることの大切さを実感し、貴重な経験となりました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

名誉ある賞を頂き大変嬉しく思います。ボランティアとは強制されず、自らの意思で、他人や社会の為に無償で行う活動のことです。これからは、理学療法士として社会に出ます。理学療法士という立場を活かし、自らの意思で無償で活動を行い、ボランティア界で優勝を狙って行きたいです！！



中島 瑞葵 さん ☆

久留米大学
人間健康学部スポーツ医科学科



中川 優月 さん

高知医療学院
理学療法学科

● 思い出に残る活動

サウンドテーブルテニスの体験が思い出に残っています。見学した際は、「楽しそう！」と感じており、実際に体験すると、音を頼りにする繊細さと高度な技術が求められ、難しさを実感しました。その後、得点することができ大きな喜びと達成感を得ました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

優秀学生に選ばれ、大変光栄に思います。4年間の目標であった在学中の中級パラ取得を達成でき、とても嬉しいです。今後は障害の有無に関わらず、すべての子どもたちがインクルーシブな環境で共にスポーツを楽しめる社会の実現に貢献したいです。

● 思い出に残る活動

思い出に残る活動は、車椅子ラグビーを実際に間近で見たことです。迫力に圧倒され、選手ごとの車椅子操作の違いにも気づき、多くの学びを得ました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

1年生から3年間活動を継続し、様々な疾患の方や教員の方と関わらせていただきました。学校での学びと実際の現場との違いを実感し、多くの気づきを得ました。今後もこのような活動を通して、さらに理解を深めていきたいと考えています。



村松 優衣 さん

山梨学院大学
スポーツ科学部スポーツ科学科

● 思い出に残る活動

様々なパラスポーツのボランティア活動に参加し、障害のある方と関わりながら指導やサポートを行った経験が特に印象に残っています。一人ひとりに応じた関わり方や配慮の大切さを実践的に学ぶことができました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

今回このような評価をいただき、大変嬉しく思います。これまでの学びやボランティア活動が認められたことを励みに感じています。パラスポーツを通して多くの方と関わる中で、その魅力や意義を実感してきました。今後も知識と経験を深めながら、パラスポーツの価値をより多くの人に伝えていけるよう努めていきたいです。



松本 梨沙 さん

大阪保健医療大学
保健医療学部リハビリテーション学科

● 思い出に残る活動

私の特に思い出に残っている活動は「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」です。この活動で海に入ることを諦めていた方々と一緒に海に入る経験をしました。ご本人やそのご家族の方が喜ばれている姿がとても印象的でした。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

大学に入学してから4年間、「楽しそう!」という気持ちで始めたパラスポーツのボランティアなどで、私自身とても良い経験がたくさんできました。趣味のような感覚で行っていたものですが、誰かの力になれたと思います。今後も定期的にボランティアなどを行い、将来的にはパラスポーツに携わる仕事をしたいと思います。



小谷 優茉 さん

美作市スポーツ医療看護専門学校
介護福祉学科

● 思い出に残る活動

車いすバスケットボールが特に思い出に残っています。実際に活動している選手の方から直接教えていただき、姉妹校の学生との交流にもつながり、楽しく活動できました。また、授業ではゴールボールやサウンドテーブルテニス、ボッチャなどを体験しました。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

この度は、このような賞をいただき大変光栄です。今後は福祉施設で働く中で、これまでに学んだことをさらに深め、利用者の方一人ひとりに寄り添いながら、実践に活かしてまいりたいと考えております。また、引き続きパラスポーツへの関心を深めてまいりたいと思います。今回の受賞を励みに、今後も一層努力を重ねてまいります。



勝又 圭成 さん

富士リハビリテーション大学
理学療法学科

● 思い出に残る活動

パラ水泳ワールドシリーズin静岡・富士でのボランティアスタッフの経験です。幼少期から水泳をしていましたが、世界大会のサポートは初めて関わり、選手の特性に応じた支援の工夫や会場が熱くなるレースを体感しました。また、駅でのポスター掲示から地域の活性化も実感し、パラスポーツの魅力より強く感じただけです。

● 受賞の感想や活動への思い、今後の目標など

富士リハ入学前はパラスポーツのことをほとんど知らない状態でしたが、この4年間でその楽しさや魅力を多くの経験を通して学ぶことができました。ご指導いただいた赤岩先生をはじめ、多くの方々に感謝しています。今後は、これほどまでに熱く夢中になれるパラスポーツの魅力を、より多くの人に伝えていきたいと考えています。